

3市町村が工事の無事を願う

ごみ中間処理施設の起工式を開催



工事は2025年11月までを予定

厚木市・愛川町・清川村の3市町村が共同で取り組む厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設の建設工事に向け、建設地の金田で、建設請負事業者による安全祈願祭と起工式が開催されました。起工式には、組合管理者の小林常良市長ら39人が参加し、工事の安全と建物の無事の完成を願いました。小林市長は「18年前の組合設立から今日を迎えられたのは、地域の皆さんの苦悩と決断あつてのこと。とても感慨深く、心から感謝を申し上げます。ごみ処理だけでなく、災害対策や憩いの場としても皆さんの生活に役立てるよう、組合として責任を持って進める」と力を込めました。新施設は、2025年度の稼働に向け整備を進めていきます。

秋空の厚木路を選手が力走

あつぎマラソンを開催



10*コースは関門制限時間の緩和などで参加しやすい大会に

秋空の下、「2022あつぎマラソン」が荻野運動公園を発着点として3年ぶりに開催されました。市内外から選手977人が参加し、厚木路を力強く駆け抜けました。あつぎマラソンは、スポーツ交流の促進と生涯スポーツの推進を目的に市と教育委員会が主催し、今年で37回目。大会にはゲストラランナーとして、友好都市の秋田県横手市出身で、アテネパラリンピックマラソン競技の金メダリスト・高橋勇市さんが参加しました。男子・29歳以下の部で大会新記録を出した浅岡祐希さん（26・妻田南）は「あつぎマラソンに出るのは5回目。1位になったことはうれしいが、もつといいタイムを出したかった」と話しました。



帰ってきた厚木の風物詩

第76回あつぎ鮎まつりを3年ぶりに開催

親子で来ていた樋田尚美さん（33・東町）は「3年ぶりの鮎まつりでまちもにぎわい、わくわくしている。厚木はイベントが多く、よく参加していたので開催を待ち望んでいた。花火大会が楽しみ」と笑顔で話し、息子の竜之介くん（7）は「一人もたくさんいて楽しい。おいしいものをたくさん食べた」と祭りの開催を喜びました。



約300発に及ぶ仕掛け花火「大ナイアガラ」

市街地全体がステージに

にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸を開催



迫力満点のパフォーマンスに見入る観客たち

にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸が11月の2日間、本厚木駅前北口広場や一番街通り、厚木中央公園など11カ所を舞台に開催されました。国内外から集まった一流の大道芸人30組が息をのむパフォーマンスを繰り広げ、街を訪れた人たちを楽しませました。厚木中央公園で高所でのアクロバットを披露したPerformer SYO!さんに観客らは、「高いところから落ちそうだよ。頑張つて」などの声を掛けるなど、イベントを満喫していました。本厚木駅前東口地下道では「CHIKAフェス」を実施。市の魅力を共有するハッシュタグ「ちなんだ」#nicetsugi「パーティー」を初めて開催し、巨大フォトスポットや投稿者による交流ブースなどにも多くの人が集いました。



第14回 みんなで! SDGs

SDGs（持続可能な開発目標）の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業と技術革新を進めるには、電気、ガス、水道などのインフラ基盤の整備が必要です。質が高く、災害などにも強いインフラを整え、みんなに役立つ安定した産業化を進めましょう。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



できる取り組みは？

身近なインフラに目を向け、生活基盤を理解する

インフラを学び、供給の仕組みを知ることは、個人でできる取り組みの一つです。身の回りのインフラが、どのような形で私たちの生活を支えているのか、そしてどんな問題を抱えているのか理解を深めましょう。

災害に備えて対策をする

災害時には、断水や停電などが発生することがあります。備蓄用の水やモバイルバッテリーなどを準備することは、自分自身を守るだけでなく、インフラの負荷を減らせるため、速やかな復旧につながられます。

企画政策課 ☎225-2450

元気があれば、何でもできる。「ねりんピックかながわ2022」が11月12日から15日までの4日間、県内26市町を舞台に開催されました。34回目を迎えたねりんピックの正式名称は「全国健康福祉祭」。スポーツや文化など32種目の交流大会などを通じ、高齢者の健康や生きがいなどを高めることを目指したイベントです。

市内では、ラグビー・フットボールと健康マージャンで市民2人が選手宣誓



健康マージャンで市民2人が選手宣誓

「ねりんピックかながわ2022」が11月12日から15日までの4日間、県内26市町を舞台に開催されました。34回目を迎えたねりんピックの正式名称は「全国健康福祉祭」。スポーツや文化など32種目の交流大会などを通じ、高齢者の健康や生きがいなどを高めることを目指したイベントです。市内では、ラグビー・フットボールと健康マージャンで市民2人が選手宣誓